



風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.17

令和2年12月24日発行

風の子たちの2学期

1・2年



今学期も「木浦地域」を楽しみました。木浦川沿いの「クルミ」でクルミクッキー、クルミパン、中尾の「栗」でゆで栗・栗おこわ・栗ようかん、浜木浦の「柿」の干し柿で干し柿大根サラダ、干し柿ヨーグルトを作って食べました。木浦の自然の恵み、豊かさ、有難さだけでなく、太陽の力、地域の方々のあたたかさを実感しました。

3か月間、うさぎの「もふくん」を世話して、命の尊さ、責任を学びました

アケビ採り、風の子米を使った米粉スイーツ作り、風の子米とサケ汁作りなど、木浦の恵みを存分に味わいました。

公民館主催の烏帽子山登山にも参加しました。毎日教室の窓から眺めている烏帽子山に登ることができて、うれしかったです。地域の皆さんと一緒に活動できて心強かったです。

また、木浦川に遡上してきたサケの採卵・授精も行いました。命をつなぐ大切な作業をする目は真剣でした。卵は順調に育っています。

3・4年



5・6年生は、ふるさと木浦の文化を主題に学んできました。市内の民話研究家を講師に招き、民話をとおして、「大人になってもふるさとを思い出してほしい」など、ふるさと文化を伝える方の思いや考えに触れました。

鬼舞にある伊藤邸の見学では、北前船に関するお話をしていただきました。北前船が運んだ品物が、日本各地の生活で生かされていることを知り、木浦の文化に関する新たな発見と誇りをもちました。

5・6年



子供の感性があふれ出す 絵手紙教室



12月9日、全校で絵手紙を体験しました。講師は、7月に1・2年生に教えてくださった方です。

「よく見て。ゆっくり、ゆっくり。」

「下手でいいよ。下手がいいんだよ。」

野菜や果物、正月の小物を描きましたが、講師の言葉に、子供たちは穏やかな気持ちになって絵筆を進めていました。子供は、技法にこだわらず、感じたものを素直に表現できるので、味わい深い作品が次々に生まれていきました。

はがきに描いたものは、今後、お世話になった方へのお礼として使うので、「ありがとう」の文字を添えました。

【警報発令】 年末・年始のコロナ対策

年末・年始は、おめでたい雰囲気でおめでたい気分が緩みがちですが、これまで同様、新型コロナウイルスの感染を防ぐ行動をとり、安心できる休日をお過ごしください。保護者の皆様においては、責任を持って子供たちに徹底させてください。

- **コロナウイルスを甘く見ない(いつ・どこ・だれでも感染の可能性)**
- **三密を避け、マスク着用と手指消毒をしっかりと**
- **規則的な生活リズムを心掛ける**
- **不要不急の外出、人が多く集まる場所への外出は控える**
- **感染の疑い、濃厚接触者に指定された場合は、すぐに学校へ御連絡を**

※閉庁期間中（12/29～1/3）は、学級担任又は市教育委員会へ

冬休み～1月の予定

12月25日（金）～1月7日（木）	冬休み
29日（火）～1月3日（日）	閉庁日（学校無人化）
1月 8日（金）	第3学期始業式
12日（火）	あいさつの日 校内書き初め大会
19日（火）	児童朝会
20日（水）	避難訓練
21日（木）	学力検査（国語、理科）
22日（金）	学力検査（算数、社会）
26日（火）	あいさつの日
29日（金）	スキー教室

保護者・地域の皆様

令和2年は、新型コロナウイルスのため、社会が混乱した1年になってしまいました。それにもかかわらず、当校では各学年の学習は遅滞なく進み、木浦の魅力に触れる体験活動も十分に実施することができました。これも皆様からの御支援のたまものと心から感謝いたします。

令和3年が安心して過ごせる年になるよう、地域の発展と皆様の御多幸を祈念いたします。

